授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
音楽科教育法	講義	2	井本 英子

### 記載不要

#### 【授業のテーマ及び到達目標】

小学校音楽科の目標及び指導内容を知る。①小学校学習指導要領の目標・内容を理解して説明できる。②教材となる楽曲演奏のための音楽力を習得し教育現場で演奏できる。③教材となる楽曲の分析・理解し教育現場で 実践できる。④教材研究のポイントを掴み、指導案が書ける。⑤指導案を基に模擬授業を行い、振り返りができる。

# 【授業の概要】

小学校学習指導要領に則して、主に共通教材の楽曲を習熟し、指導方法を研究する。音楽科教育の目的を理解 し、歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞の各内容の充実した指導と、表現と鑑賞の各活動の関連を図った授業づくり ができるように、教科書の教材研究を通じて音楽科の学習指導に必要な力を身につける。歌唱、弾き歌い、伴奏、 器楽演奏等の実習も伴う。

# 【全体の授業計画・内容】

1. ガイダンス

事前学修課題:シラバスを熟読し、関係した書籍等を読む。【1時間】

事後学修課題:授業内容を各自でまとめ理解する。【1時間】

2. 小学校音楽科の意義・教科目標についての考察

事前学修課題:小学校学習指導要領を読む。【1時間】

事後学修課題:授業内容を各自でまとめ小学校音楽科の意義と教科目標を理解する。【1時間】

3. 小学校音楽科の学年目標についての考察

事前学修課題:小学校学習指導要領を読む。【1時間】

事後学修課題:授業内容を各自でまとめ小学校音楽科の学年目標を理解する。【1時間】

4. 指導内容の6年間の流れ

事前学修課題:小学校音楽科の学年目標を復習する。【1時間】

事後学修課題:授業内容を各自でまとめ小学校音楽科の6年間の流れを理解する。【1時間】

5. 表現及び鑑賞活動についての考察

事前学修課題:課題曲を練習する。【1時間】

事後学修課題:課題曲を復習して楽曲について深く知る。【1時間】

6. 歌唱教材の研究1 (低学年)

事前学修課題:課題曲を練習する。【1時間】

事後学修課題:低学年の歌唱教材を復習して深く知る。【1時間】

7. 歌唱教材の研究2(中、高学年)

事前学修課題:課題曲を練習する。【1時間】

事後学修課題:中・高学年の歌唱教材を復習して深く知る。【1時間】

8. 器楽教材の研究1(低学年)

事前学修課題:課題曲を練習する。【1時間】

事後学修課題:低学年の器楽教材を復習して深く知る。【0.5 時間】

9. 器楽教材の研究2(中、高学年)

事前学修課題:課題曲を練習する。【1時間】

事後学修課題:中・高学年の器楽教材を復習して深く知る。【1時間】

10. 鑑賞教材の研究1(低学年)

事前学修課題:課題曲について調べる。【1時間】

事後学修課題:関連する他の曲も鑑賞する。【1時間】

11. 鑑賞教材の研究2(中、高学年)

事前学修課題:課題曲について調べる。【1時間】

事後学修課題:関連する他の曲も鑑賞する。【1時間】

12. 創作指導の研究

事前学修課題:創作活動について調べる。【1時間】

事後学修課題:授業内容を振り返り創作する。【1時間】

13. 学習指導案作成

事前学修課題:学習指導案を作成する。【1時間】

事後学修課題:授業内容を振り返り指導案を修正する。【1時間】

14. 学習指導案による模擬授業

事前学修課題:模擬授業の準備をする。【1時間】

事後学修課題:授業内容を振り返り模擬授業を復習する。【1時間】

15. 試験と振り返り

事前学修課題:試験の準備学習をする。【1時間】

事後学修課題:試験の振り返りから更に教科全体の理解を深める。【1時間】

# 【学習のあり方】

毎回の課題曲を各自練習のこと。講義の考察課題だけでなく、グループワークやグループディスカッションに おいても意欲的に参加すること。第8回授業からは各自リコーダー(ソプラノ)を持参すること。各課題におい て各自模擬授業をして復習すること。

### 【成績評価】

平常授業内における習得度及び実技評価 50%、授業内レポート 20%、授業内試験 30%

上記3項目のそれぞれ60%以上の点数取得が合格条件。

### 【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】

小テストやレポートには適宜コメントを記入或いは説明・指導をして返却する。

## 【テキスト】

適宜教材・資料を配布する。

### 【参考文献】

文部科学省『小学校指導要領解説(音楽篇)』、その他授業内に紹介する。

### 【実務経験の有無】

無